

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第7回和文会誌分科会 開催日：10月13日。出席者：加藤主査，ほか25名。

1. 21件の論文審査報告がなされ，掲載決定20件，他1件であった。
2. 「鉄と鋼」第68年第2号(2月号)に論文11件，技術報告1件，寄書1件掲載決定した。

第7回欧文会誌分科会 開催日：10月2日。出席者：中村主査，ほか8名。

1. 9件の論文につき審査報告がなされ，掲載可3件，照会后掲載可5件，修正依頼1件であった。
2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，1件のTechnical Featuresを勧誘することとなった。

第4回講演大会分科会 開催日：10月16日。出席者：鈴木朝夫主査，ほか17名。

1. 新委員の勝谷良碩君，桑島英明君の紹介があった。
2. 第102回講演大会の実行委員，会場およびプログラムに関する注意事項等の説明があった。
3. 第103回講演大会以降のポスターセッションの実施方法について，説明があった。詳細は「鉄と鋼」(11月号の会告に掲載)

共同研究会 鋼管部会

第37回部会 開催日：10月8～9日。出席者：田中部会長，ほか192名。

開催地：第1日 神鋼長府北 第2日 新日鉄八幡

1. 共通議題 「技術開発体制について」
2. 幹事会報告
3. 継目無分科会報告 (1)概要報告 (2)NDIの現状と将来の展望
4. 自由議題
 - (1)「電縫鋼管の自動入熱制御について」
 - (2)「高脆性ラインパイプのDWT T, シャルビー特性の相関と不安定延性破壊について」
5. 特別議題 「UDE設備概要」
6. 工場見学

特定基礎研究会

第一回運営委員会 開催日：9月22日。出席者：津谷委員長，ほか10名。

1. 鋼材の表面物性に関する基礎研究部会報告
石田幹事(東大)から部会を代表し準備会と現在までの部会について詳細に活動状況と報告をしていただいた。
2. 昭和57年度新規発足部会についての提案審議
木村部会長(原料炭の基礎物性部会)から「石炭のコークス化特性に関する研究」について提案趣旨を説明していただき，石炭という分野は同じであるが，提案趣旨

に新規性があることなどの理由により新規テーマとして採用することを決定した。

鋼材の表面物性に関する基礎物性部会

第2回部会 開催日：10月5日。出席者：久松部会長ほか25名。

昭和57年度から始める研究課題に関する討議をおこなった。資料は，会社側のニーズに基づいて作成したアンケートを用いた。

標準化委員会

整合性調査特別委員会

第2回鋼質試験調査分科会 開催日：9月22日。出席者：石川主査，ほか10名。

1. JIS G0552 (フェライト結晶粒度)の整合調査
2. JIS G0553 (マクロ組織)の整合調査
3. JIS G0553 (マクロ組織)のJIS改正原案について
4. JIS G0559 (炎焼入れ及び高周波焼入れ硬化層深さ)
5. JIS G0558 (脱炭層深さ測定方法)改正原案についての説明

ISO鉄鋼部会

第20回SC7分科会 開催日：9月22日。出席者：石川主査，ほか11名。

1. N273 (縞状組織)に対する日本コメントについて
 - (1) タイトルについて
 - (2) Clause 1.1 について
 - (3) Clause 1.2 について

第28回SC5分科会 開催日：9月22日。出席者：日下部主査，ほか7名。

1. DP 5256 (鋼管の塗覆装) Chapter 4 の検討
2. ISO 2546 及び ISO 2547
3. WG14 (パイプサポート)
4. WG15 (マーキング)
5. ステンレス関係 (WG16, WG17, ISO 2853)
6. WG5一寸法の合理化
7. DIS 3545. 2 (シンボル)
8. TC22 の活動に関する情報
9. ISO 3304, 3305 及び 3306 (精密鋼管, N375・376・337)
10. ホローセクション (N379・380)

第29回TC5分科会 開催日：10月2日，出席者：日下部主査，ほか6名。

1. ISO 2546, ISO 2547 (品質要求のない鋼管)
2. ホローセクション (N379・380)
3. 灌漑用鋼管
4. 次々回(1984年)TC5/SC1 国際会議日本誘致の件

第72回普通鋼分科会 開催日：9月29日：出席者：
小倉主査，ほか9名。

1. SPV
2. 80キロハイテン
3. S L A
4. 新制御圧延法の定義
5. 薄板関係 JIS 見直し
6. JMC/UST, JIS 最終案

.....

第67回特殊鋼分科会 開催日：9月3日。出席者：
石川主査，ほか15名。

1. JASO の構造用鋼鋼材規格改訂について
2. 小委員会報告
- (1)ばね鋼小委員会より (2)中空鋼鋼材WGより
3. S I 単位導入について
4. 整合性調査について

鉄鋼標準試料委員会

第3回常任委員会 開催日：9月25日。出席者：大槻
幹事，ほか13名。

1. 標準値の決定 (強靱鋼，炭素専用鋼，焼結鉄)
2. 素材の検討
3. 標準試料の使い方に関する講習会について
4. 試料調製予定

材料研究委員会

第44回委員会 開催日：9月19日。出席者：大橋委
員長，ほか14名。

1. 研究発表
- (1) An Analysis of Elastic-Plastic Fracture Toughness Behavior for J_{IC} Measurement in the Transition Region

**溶接構造物への大出力電子ビーム溶接の適用に関する
講演会の開催**

主催：日本溶接協会 後援：本会ほか
日時 昭和57年1月26日(火) 9:00~17:00
場所 自動車会館大会議室 (〒100 東京都千代田区
九段南 4-8-19, 市ヶ谷駅下車2分,
電 03-264-4719)
定員 100名 (57年1月14日締切)
参加料 30,000円 テキスト代，中食費を含む
講演 圧力容器の品質保証と溶接技術について
金材技研 稲垣 道夫
技術革新の今後の動向 MIT 寺井 精英
大出力 EB 溶接法の諸特性
川重 杓名 宗春

(2) Crack Initiation and Arrest Characteristics of 9%Ni Steels with Various Charpy V-notch Energy Values

(3) 衝撃値及び疲労亀裂進展特性と鋼中の P, B 量の関係

(4) シャルピー特性と引張特性との関連

(5) 高焼入性高応力ばね鋼の疲労特性について

2. 研究テーマの検討

アンケート結果のまとめと共同研究の進め方についての討議

3. 研究部見学会 (株)日本製鋼所室蘭製作所研究部

鉄鋼基礎共同研究会

鉄鋼材料の摩耗部会

第10回部会 開催日：10月2日。出席者：木村部会
長，ほか24名。

開催地：本会会議室

1. 摩耗に関する研究発表

(1) スラリラインパイプの技術動向

(2) 高炭素鋼の摩耗特性

(3) 熱間板圧延用ロールの損耗と圧延負荷に関する調査アンケートの解析 (その2)

2. ロール摩耗のアンケート結果と今後の研究の進め方討議

3. その他

連続製造における力学的挙動部会

第5回部会 開催日：10月13日。出席者：森部会長，
ほか25名。

1. 特別講演「スラブ連続機 IHIVÖEST 連続機について」石川島播磨重工 深井利行圧延機設計部課長

2. 研究発表 3件の発表・報告があった。

大出力 EB 溶接装置

大阪変圧器 竹本 朝紀

大出力 EB 溶接施行技術上の問題点

日立造船 坂端 伸治

大出力 EB 溶接部の継手性能と非破壊検査

新日鉄 笹川 哲三

厚板溶接施行における生産性および経済性

神鋼 沼田 淳

圧力容器への EB 溶接適用に関する規格化

日本鋼管 田中 甚吉

重電機器における大出力 EB 溶接の適用例

日立製作 喜多 久直

問合せ，申込先 日本溶接協会 BWP 委員会

〒101 東京都千代田区神田佐久間町 1-11

産報佐久間ビル 電話 (03) 257-1521